

2023年5月9日

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、令和5年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、北海道運輸局、北海道、北海道警察、交通関係協力団体のご協力をいただき、踏切事故の防止を図るため5月11日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には非常ボタンや車の発炎筒等で列車を止める」などの呼びかけを行います。



◎啓発ポスターデザインのリニューアル

◎デジタルサイネージを活用した啓発の実施。
(写真は札幌駅)

■実施期間

2023年5月11日(木)から5月20日(土)までの10日間

■実施内容

- ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ 車内放送による呼びかけ
- ・ 道内のガソリンスタンド（45箇所）及び駅レンタカー営業所（11箇所）をご利用になるドライバーへの呼びかけ
- ・ 小学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による呼びかけ
- ・ 関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問しての呼びかけ
- ・ ラジオCMの放送
- ・ 駅構内におけるデジタルサイネージ等での踏切事故防止の呼びかけ（札幌駅他19駅）

<踏切事故の概況>

2022年度、JR北海道における踏切事故は4件発生し、前年度と比較すると1件増加となっており、今年度は既に1件発生しています。また、踏切事故には至っていませんが、車の直前横断や立ち往生、非常ボタンの動作などで列車が緊急停止した事象は、2022年度は430件発生しています。